

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社カワタ 上場取引所 東
 コード番号 6292 URL <https://www.kawata.cc/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 互
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 原田 恭子 (TEL) 06-6531-8211
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 2020年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,695	△23.2	299	△67.9	281	△69.2	131	△77.6
2020年3月期第2四半期	11,325	△5.2	931	△21.2	912	△24.9	587	△32.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 27百万円(△94.8%) 2020年3月期第2四半期 538百万円(△20.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	18.66	—
2020年3月期第2四半期	82.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	21,536	10,507	47.9
2020年3月期	21,866	10,675	47.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 10,310百万円 2020年3月期 10,464百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	△26.9	△140	—	△140	—	△340	—	△48.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	7,210,000株	2020年3月期	7,210,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	233,849株	2020年3月期	128,221株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	7,064,563株	2020年3月期2Q	7,081,779株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により急激に悪化し、一部の先進諸国において段階的な経済活動再開に向けた動きは見られるものの、依然として低調に推移しております。

わが国経済も、緊急事態宣言の解除後は徐々に経済活動再開の動きはあるものの、回復に向けた動きは鈍く、設備投資については依然として先行き不透明な状況が続いております。また、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ても、製造業の機械受注額は、2019年10～12月は1兆782億円（前年同期比10.2%減）、2020年1～3月は1兆971億円（同3.4%減）、4～6月は9,147億円（同19.9%減）、7月は3,131億円、8月は3,112億円と減少傾向が続いております。

このような環境下、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応として、引き続き各セグメントが属する国の状況に応じて時差出勤や在宅勤務等を実施しながら、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

しかしながら、当第2四半期における受注高は前年同期比33億2千3百万円減（同30.7%減）の74億8千8百万円、受注残高は前年同期比14億6千8百万円減（同23.0%減）の49億2千5百万円となりました。売上高につきましては、前年同期比26億3千万円減（同23.2%減）の86億9千5百万円となりました。

損益面では、材料費を中心とした原価低減策や諸経費の削減等に努めましたが、売上高の減少に伴う売上総利益の減少により、営業利益は前年同期比6億3千2百万円減（同67.9%減）の2億9千9百万円、経常利益は前年同期比6億3千1百万円減（同69.2%減）の2億8千1百万円となりました。

特別損益では、投資有価証券評価損2百万円を特別損失に計上し、更に法人税、住民税及び事業税1億7千3百万円、法人税等調整額マイナス1千9百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比4億5千5百万円減の1億3千1百万円（同77.6%減）となりました。

日本におきましては、緊急事態宣言の解除後も感染再拡大のリスクが残っていることから、経済活動の再開は急速には進まず、日用雑貨や容器・物流関連は比較的堅調に推移したものの、自動車関連については引き続き低調であったことから、売上高は前年同期比14億3千5百万円減（同19.1%減）の60億6千5百万円となりました。損益面では、売上高の減少に伴う売上総利益の減少等により、営業利益は前年同期比2億7千5百万円減（同32.7%減）の5億6千7百万円、セグメント利益（経常利益）は前年同期比2億8千6百万円減（同33.1%減）の5億8千万円となりました。

東アジアにおきましては、米中貿易摩擦の長期化に加え、新型コロナウイルス感染拡大の収束に伴い中国国内では経済活動が再開されたものの民間設備投資が回復するまでには至らず、売上高は前年同期比6億1千8百万円減（同20.2%減）の24億4千6百万円となりました。損益面では、操業度の低下に伴う製造固定費単価上昇による売上総利益率の低下（27.3%→17.5%）と売上高の減少に伴う売上総利益の減少等により、営業損失が1億7千9百万円（前年同期は2千2百万円の営業損失）、セグメント損失（経常損失）が1億9千6百万円（前年同期は5千5百万円の経常損失）となりました。

東南アジアにおきましては、前年度後半から続くタイ、インドネシアの自動車関連を中心とした設備投資意欲の減退に加え、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の制限等により、売上高は前年同期比6億6百万円減（同45.8%減）の7億1千8百万円となりました。損益面では、売上総利益率の低下（33.1%→27.9%）と売上高の減少に伴う売上総利益の減少等により、営業損失が6千8百万円（前年同期は1億3千2百万円の営業利益）、セグメント損失（経常損失）が6千2百万円（前年同期は1億3千7百万円の経常利益）となりました。

北中米におきましては、米中貿易摩擦の長期化および新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の制限並びに新NAFTAの発効遅れ等の影響により引き続き低調に推移し、売上高は前年同期比1億4百万円減（同73.4%減）の3千8百万円にとどまりました。損益面では、売上高の減少に伴う売上総利益の減少等により、営業損失が4千3百万円（前年同期は2千6百万円の営業損失）、セグメント損失（経常損失）が6千万円（前年同期は2千5百万円の経常損失）となりました。

なお、報告セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおり、上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、現金及び預金が増加しましたが、受取手形及び売掛金、商品及び製品が減少したこと等により1億8千8百万円減少し、163億6千8百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、建物及び構築物、その他の有形固定資産が減少したこと等により1億4千1百万円減少し、51億6千7百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3億3千万円減少し、215億3千6百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、短期借入金が増加しましたが、支払手形及び買掛金、1年内償還予定の社債、未払法人税等が減少したこと等により1億9千6百万円減少し、72億1百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、長期借入金が増加したこと等により3千4百万円増加し、38億2千6百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億6千1百万円減少し、110億2千8百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、自己株式が増加し、為替換算調整勘定が減少したこと等により1億6千8百万円減少し、105億7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や欧米諸国における新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念されることから、先行き不透明感が増しております。わが国経済も、世界経済の景気減速の影響を受け需要の減退や設備投資の先送りなどにより、実体経済の本格的な回復には一定程度の時間を要するものと予想されます。

当社グループにおきましては、年度後半には新型コロナウイルスの感染収束に向けた兆しが見え、設備投資意欲の改善やこれに伴う経済活動の回復を予想しておりましたが、期初に想定していた以上に新型コロナウイルスの収束には時間を要するとともに、設備投資の回復スピードが当初予想より緩やかになると見込まれることから、2020年10月30日に業績予想の修正を行っております。

このような状況下ではありますが、当社グループにおきましては、引き続き新型コロナウイルス感染防止策を徹底するとともに、二次電池関連業界向けの販売拡大、IoT、5G、AI、バイオプラスチック等への対応による新規市場・成長分野における事業展開の強化、既存市場、既存分野での販売拡大と収益力向上、経営基盤の強化とESG経営の推進により、強靱な企業体質の構築を図ってまいります。

なお、配当につきましては、上記施策の実行によるコロナ禍での収益力の向上と自己資本および自己資金の状況等を総合的に勘案して、前回予想通り中間配当15円、期末配当15円を実施する所存であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,603,596	6,931,897
受取手形及び売掛金	7,141,010	6,127,976
商品及び製品	1,330,744	924,992
仕掛品	817,023	760,131
原材料及び貯蔵品	1,398,393	1,328,950
その他	353,036	396,314
貸倒引当金	△86,908	△102,057
流動資産合計	16,556,896	16,368,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,197,684	2,105,332
土地	1,397,539	1,395,285
その他(純額)	630,749	556,551
有形固定資産合計	4,225,973	4,057,170
無形固定資産		
その他	439,239	429,515
無形固定資産合計	439,239	429,515
投資その他の資産		
その他	645,762	682,576
貸倒引当金	△1,404	△1,404
投資その他の資産合計	644,358	681,172
固定資産合計	5,309,571	5,167,857
資産合計	21,866,467	21,536,064
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,187,705	1,985,020
短期借入金	3,012,003	3,342,502
1年内償還予定の社債	237,500	137,500
未払法人税等	300,633	186,536
製品保証引当金	99,948	88,268
役員賞与引当金	47,700	—
その他	1,513,260	1,462,118
流動負債合計	7,398,752	7,201,946
固定負債		
社債	56,250	37,500
長期借入金	2,708,329	2,750,272
役員退職慰労引当金	102,163	—
退職給付に係る負債	818,794	814,414
その他	106,576	224,792
固定負債合計	3,792,113	3,826,979
負債合計	11,190,866	11,028,925

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	977,142	977,142
資本剰余金	1,069,391	1,069,391
利益剰余金	8,300,549	8,326,122
自己株式	△43,670	△133,654
株主資本合計	10,303,411	10,239,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,349	82,395
為替換算調整勘定	88,992	△10,668
その他の包括利益累計額合計	161,342	71,726
非支配株主持分	210,847	196,410
純資産合計	10,675,601	10,507,138
負債純資産合計	21,866,467	21,536,064

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	11,325,639	8,695,325
売上原価	8,042,411	6,409,021
売上総利益	3,283,228	2,286,303
販売費及び一般管理費	2,351,790	1,987,163
営業利益	931,438	299,139
営業外収益		
受取利息	4,290	5,532
受取配当金	4,755	4,996
保険解約返戻金	37,248	13,739
その他	34,459	38,500
営業外収益合計	80,753	62,768
営業外費用		
支払利息	40,485	36,829
為替差損	40,400	31,294
その他	18,867	12,654
営業外費用合計	99,752	80,778
経常利益	912,439	281,129
特別利益		
固定資産売却益	2,892	546
特別利益合計	2,892	546
特別損失		
固定資産除売却損	1,539	128
投資有価証券評価損	—	2,094
特別損失合計	1,539	2,223
税金等調整前四半期純利益	913,792	279,452
法人税、住民税及び事業税	244,858	173,152
法人税等還付税額	△84,155	—
法人税等調整額	145,919	△19,681
法人税等合計	306,622	153,471
四半期純利益	607,169	125,981
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	587,391	131,799
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	19,778	△5,818
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	401	10,045
為替換算調整勘定	△69,275	△108,279
その他の包括利益合計	△68,873	△98,233
四半期包括利益	538,296	27,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	514,061	42,184
非支配株主に係る四半期包括利益	24,234	△14,436

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	7,070,051	2,807,821	1,311,613	136,153	11,325,639	—	11,325,639
セグメント間の内部 売上高又は振替高	430,103	258,079	13,515	6,867	708,566	△708,566	—
計	7,500,154	3,065,901	1,325,129	143,020	12,034,206	△708,566	11,325,639
セグメント利益又は 損失(△)	867,201	△55,234	137,200	△25,966	923,200	△10,761	912,439

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	923,200
セグメント間取引消去	△10,761
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	912,439

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	5,652,813	2,299,581	705,532	37,398	8,695,325	—	8,695,325
セグメント間の内部 売上高又は振替高	412,210	147,375	12,647	642	572,874	△572,874	—
計	6,065,023	2,446,956	718,179	38,040	9,268,200	△572,874	8,695,325
セグメント利益又は 損失(△)	580,333	△196,088	△62,116	△60,291	261,837	19,291	281,129

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	261,837
セグメント間取引消去	19,291
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	281,129

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。なお、北中米には生産拠点が存在しないため、記載しておりません。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
日本	5,388,585	△16.7
東アジア	1,506,018	△45.4
東南アジア	226,574	△52.4
合計	7,121,178	△26.6

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は販売価格によっております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
日本	4,912,238	△24.8	3,061,856	△19.0
東アジア	1,917,433	△38.1	1,576,064	△26.6
東南アジア	616,086	△44.7	257,935	△40.8
北中米	43,047	△35.6	29,941	△7.2
合計	7,488,806	△30.7	4,925,798	△23.0

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
日本	5,652,813	△20.0
東アジア	2,299,581	△18.1
東南アジア	705,532	△46.2
北中米	37,398	△72.5
合計	8,695,325	△23.2

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。